平成２１年

「救急の日」講演会

日時　：　平成２１年９月１２日（土）１０時開演

場所　：　クリスタルアージョ　４階小ホール

講師　：　広島県厚生農業協同組合連合会

吉田総合病院

外科部長　丹治　英裕先生

演題　：　「新型インフルエンザについて」

主催　安芸高田市

共催　安芸高田市医師会

「救急の日」講演会プログラム

第１部

１．開　会　挨　拶（10 時 00 分）
安芸高田消防署
署 長　久　保　高　憲

２．挨　拶
安芸高田市医師会
会 長　澤　崎　晉　一

３．講　演
演題　「新型インフルエンザについて」

広島県厚生農業協同組合連合会
吉田総合病院

外科部長　丹治　英裕　先生

第２部

１．　安芸高田市消防音楽隊による演奏

２．　住宅用火災警報器について

３．　ＡＥＤについて

閉　会

安芸高田消防署の見学（希望者のみ）

（署員の案内により移動）

「救急の日」講演会

講師　広島県厚生農業協同組合連合会
吉田総合病院　外科部長
丹治（たんじ）　英裕（ひでひろ）先生

演題『新型インフルエンザについて』

【学歴】

・ 平成　２年　３月　鳥取大学医学部卒業

【職歴】

・ 平成　２年　６月　広島大学医学部附属病院

・ 平成１９年　４月　JA 吉田総合病院

安芸高田市消防音楽隊

「安芸高田市消防音楽隊」は現役又は、元職の消防団員及び音楽を愛好する市民で構成され、消防団の音楽隊としては大変珍しい存在です。

現在、隊長ほか１５名と少数ではありますが、消防出初式をはじめ、消防関係行事や公的行事、各種イベント等において演奏を披露しており消防団の士気の高揚や市民の防火思想の普及のみならず、あらゆる機会を通じて市民の憩いの場の提供に努めています。

住宅用火災警報器

住宅火災による死者数は急増しており、特に高齢者の方が半数以上を占めています。また、死に至った原因の７割は、逃げ遅れとなっています。このため、消防法及び市町村条例により新築住宅はすでに住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。また、既存の住宅も平成２３年５月３１日までには設置しなければなりません。大切な家族の命を守るためにも、一刻も早く設置して下さい。

悪質な訪問販売に注意しましょう。

住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことによる、高額による訪問販売などを行う業者にご注意下さい。（消防署が販売することはありません。）また、業者による点検等の必要もありません。取扱説明書などをよく確認し、普段から点検ボタンなどにより自ら点検を行う習慣を身に付けましょう。

住宅用火災警報器についての問い合わせは
安芸高田市消防本部　予防課　指導係　までお問い合わせ下さい
電話４２－０９３１(代)
FAX４７－１１９１

AED ってなに？

（Automated External Defibrillator：自動体外式除細動器）

最近、よく耳にする『ＡＥＤ』。
『ＡＥＤ』とは、Automated External Defibrillator　の頭文字で、「自動体外式除細動器」のことです。（“エーイーディー”と覚えましょう）
けいれんしている心臓に対し電気ショックをかける機械です。

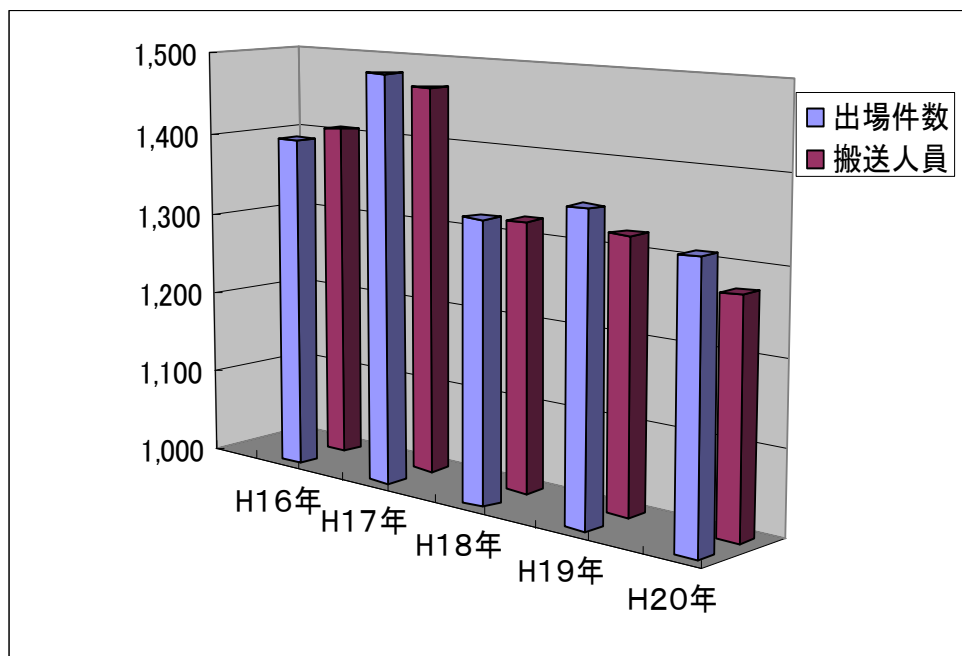
この『ＡＥＤ』は、電源を入れると音声が流れて操作手順を示してくれます。
目の前で倒れた場合や倒れている人を発見した場合、「意識がない」「呼吸がない」ことを確認して装着すると、自動的に心臓の動き（けいれんしている状態）を読み取り、電気ショックの準備を行います。その後、音声に従ってボタンを押します。
『ＡＥＤ』だけでは効力は少なく、有効な心肺蘇生法（人工呼吸と心臓マッサージ）が行われることが必要です。

『ＡＥＤ』は、心臓が動いている場合には電気ショックは必要ないと判断し、ボタンを押しても電流は流れず安全に使用できます。救急現場に居合わせた一般の方でも『ＡＥＤ』を使った心肺蘇生法を行うことが認められています。

応急手当講習についてお気軽にご相談ください

安芸高田消防署 警防課　救急係
電話４２－０９３１(代)
FAX４７－１１９１

救急車は正しく利用しましょう！

安芸高田消防署　過去５年間の救急出場件数の推移

昨年（平成２０年）、安芸高田消防署の救急に出場した件数は１，３２３件、搬送した人は１，２７３人でした。これは、市民の２５人に１人が救急車を利用したことになります。

救急車は、けがや急病などで緊急に搬送しなければならない人のためのものです。緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする人が発生した場合、救急車が不在となり**救える命が救えなくなる**おそれがあります。

救急車の正しい利用について、引き続き市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

傷病者の様子や事故の状況などから急いで病院へ搬送したほうがよいと思った時には、迷わず１１９番してください。